

## 海外市場調査 金融班

報告者：内海悠斗  
田中雄大  
田中奎多  
中村一翔

### ・目次

- 1.日本の金融について
- 2.イギリスの金融について
- 3.フィリピンの金融について
- 4.中国の金融について
- 5.まとめ
- 6.参考文献

### ・目的

現在、新型コロナウイルスの影響や米中の対立によって不安定な状況にある金融業界。このような状況の中でどのような国への投資が必要なのか、どのような業界が伸びていくのか、その国の金融事情をもとに今後の動向について考えて行く。

### ・内容

イギリス：イギリスの中央銀行スウェーデンに次いで世界で2番目に古く、銀行の歴史も古い。発行銀行も多く、特徴的な形態であるといえる。

フィリピン：フィリピンの銀行は金融政策委員会が中心となり、株式や債券取引所など様々な機関の運営の監督を行っている。

中国：中国の銀行は形態が多く、国が保有していた銀行や民間企業の銀行、農協が運営している銀行など様々な形態がある。

### ・結論

日本の銀行は日本銀行を中心に民間の銀行が存在しているが、ほかの国も基本的な運営体制は同じであった。しかし、国によって発行銀行が多いことや、国有銀行があったことなど、地域や主義の違い、国の体制などによって違いがあらわれていた。日本としてはこれから勢いが出てくるであろう新興国であるフィリピンや今や世界有数の大国である中国の金融などを観察し、動向を見極めていかなければならないと考える。